2023年度（令和５年度）
事業報告書

２０２４年２月

滋賀県大津市大萱六丁目１

総合型地域スポーツクラブ

特定非営利活動法人瀬田漕艇倶楽部

代表理事　田中　彰

2023年5月　全日本選手権

[1]　2023年度活動報告

1　特定非営利活動

2023年度定期総会にて以下の目標を掲げ、年間活動に取り組んだ。

１．全体　倶楽部の理念に沿って創立50周年記念事業の実行委員会をスタートさせる。特にFurukawaHouseを始めとした倶楽部施設の再編を検討し、倶楽部施設の近未来像を会員一丸となって作り上げる。また世代を超えた会員間の交流や他団体との交流を一層活発化し、昨年は実現できなかった若い世代の新規入会、および選手（シニアチーム）の充実を全力で目指す。新たな事業計画や倶楽部運営体制についても積極的なブラッシュアップを進め、財務関係では昨年に引き続き法人賛助・賛助会員の拡大策を目指すなど、将来を見据えた財務基盤を再構築する。

２．安全　(1) 安全規則の随時見直し（初版2005年）。
(2) 安全講習会実施、沈回復の練習会の実施。
(3) インシデント・アクシデントレポート作成の推進。

３．保全　クラブの設備・備品はクラブ員全員の持ち物であるということをあらためて認識してもらい、整理整頓・整備・修理が皆で行えるような仕組みづくり・環境づくり・情報共有の在り方を模索する。

４．施設　不具合箇所の補修対応、備品更新、建屋外構の整備計画検討 。

５．事務　各担当者との連携による円滑な事務作業。事務局のあり方検討とより良い倶楽部運営への貢献策

６．特別　びわこ市民レガッタの参加者100クルー(500人)以上。地元企業、自治体、自治会から募る。
Head Of The Setaの参加者600人以上。各ボート団体への個別交渉。

７．普及　ボート・ドラゴンボート・カヌーの体験教室をクラブ全体で運営し、年200人を目標とする。新たな普及活動を検討・実行していく。

８．収益　倶楽部独自の施策にて年間50万の収益確保に取り組む。
新たな収益財源確保に向けて知恵を募る。

９．財務　会計フローの整理・定着化。各理事との連携を強化する。

10．広報　月一回の確実な会報発行。

11．活動　倶楽部運営収支96万円、NPO事業収支290万円、収益事業収支20万円の計310万円の現金収支を確保するため、各方面での工夫だけでなく新たな施策を計画・実行する。
選手チームは全日本選手権でのメダル獲得を目標としながらも、次世代を担う選手層のメンバー獲得にも取り組む。杉藤コーチの指導のもと、競技力強化、魅力ある選手チーム作りを一層推進する。また各種コーチセミナーや、地域および他団体との交流の機会を積極的に展開する。

【総括】

2023年度はコロナ禍を乗り越えて、再始動の1年となった。これまで倶楽部の活動に様々な自粛や制限をお願いしてきたが2019年度なみの活動再開を目指し、また新たな取り組みへの挑戦に倶楽部会員にはご負担をかけつつもご協力いただいた。その中で創設46年間の活動を評価されて、ミズノスポーツメントール賞を倶楽部として受賞し、JOC・ミズノ財団・日本スポーツ協会より表彰された。また年度始めに掲げた事業計画を会員一丸となって進めたが、以下の4点については特に素晴らしい成果であると考えている。

1点目はコロナ禍以来、２つの倶楽部事業をともに実施出来たことだ。2022年度には台風接近で中止になったびわこ市民レガッタを開催することができたこと。またHead Of The Setaでは日本学生ローイング連盟との連携で全国の大学生が混成クルーで参加してくれたこと、またJARAからの要請を受けてU23日本代表合宿への参加選考会を併催した。多くの倶楽部員が運営に参加いただいたことには改めて御礼したい。新年度も２つの倶楽部事業を一層発展させるべく、今まで以上の運営への参加、知恵・経験を結集した協力をお願いしたい。

2点目は競技活動においてシニアチーム中心に素晴らしい実績を挙げてくれたことだ。全日本選手権の男子ペア（山口・須多組）で倶楽部としては久しぶりのメダルを獲得してくれた。また西原佳選手が日本代表として国際レース2大会で優勝を飾った。今後もシニアチーム中心に切磋琢磨の環境を整え、特に若い選手の入会を推進しながら「チャンピオンクルーの育成」の取り組みを進めていきたい。

3点目は対外的な新しいアプローチを進められたことだ。春には企業社内研修をローイング体験（エルゴメーター、ナックル艇レース）として受け入れることができた。また秋には大手企業の社内レガッタの運営

を担当し、約400名の参加者を受け入れた。総合型地域スポーツクラブとして社会や地域に貢献をしながら、水上スポーツの普及推進を具現化できたことは非常に大きいと考えている。今後もこうした取り組みを推進していきたい

4点目は50周年記念事業の準備が開始できたことだ。予算規模の検討を開始し、具体的な事業として候補案が上がってきた。中でも船台の改修については専門家との打ち合わせが始まり、具体的な工事概要の検討が始まった。今後ついては多世代から組織される実行委員会を稼働させて全体像の組み立てを進めたい。

運営的な総括として2023年度のNPO事業は社内レガッタ・研修のサポートや表彰等の要因から181万円の黒字となり財務では及第点とすることが出来た。50周年に向けた一層の資金確保は引き続き取り組みたい。一方で課題も残る。コロナ禍の影響もあり選手層を中心とした会員の新規入会が低調に終わった。倶楽部の近未来を支える人材の確保・育成を含めて次年度には継続した努力をしたい。2023年末会員数は、正会員129名（家族会員23名）、賛助会員70名。昨年度末から正会員は4名減となっている。

第18回びわこ市民レガッタ

4年ぶりに大会を開催することができた。

本年の参加クルーは総数59クルーと、コロナ禍前である2019年度開催の第14回時の91クルーには遠く及ばないが、初心者クルーからベテランクルーまで数多くの参加をいただくことができた。

また本年は参加条件を変更し、市民の部では4名 (コックスなし)での参加を基本としてみたが、一部のクルーからはコックスも含めてのクルーであるとのご批判をいただき、改めて参加基準の見直しの必要性を痛感した。そのほか、市民の部のベテランクルーのタイムがOB/OGの一般的なタイムを上回り始めており、参加者のそれぞれのスタンスで楽しんでもらえるようカテゴリー区分の再検討が必要である。

運営面では、クラブ員のご協力により富山県漕艇場からマコンオールを譲渡いただき、今後倶楽部保有のマコンオールのみで大会を運営できる目処がたった。また本年は漕艇場が改修されて以降初の大会開催となったこともあってか、運営上の課題が散見されたので、今後これらの課題を見なおして対策を講じていきたい。

収入は81.7万円で支出は52.0万円であり、収支は29.6万円となった。これは前回開催時(2019年)の利益額38.4万円には及ばないが参加クルー数が減少している中で同等の水準を維持できたのではないかと考えている。

本年は60名のクラブ員に当日のスタッフに従事していただき、無料練習会や前日準備にも多数の対応をいただいた。しかしながら、大会当日のスタッフ数として60名はギリギリの人数であり、特に船台係の方々にはご苦労をいただいたため、次回大会ではさらに多くの方々のスタッフ参加のご協力をいただきたい。

次回は2024年9月29日の開催を予定しているので、引き続き皆さまのご協力をお願いします。

(1)ボート等競技大会開催或いは開催支援活動

① ボート競技大会開催

第31回 Head Of The Seta

11月11.12日両日に亘り開催。2日間で延べ173クルー/514名のエントリーを集め開催。

（昨年対比　▲24クルー/+27名　ボート+74名、カヌー▲47名）

また、今年もJARAからの依頼を受け、Ｕ２３の来年度日本代表選考合宿に進むための選考トライアルも併催。加えて東京五輪代表、パリ五輪の出場国枠を獲得した荒川選手、リオ五輪、東京五輪代表の富田選手、全日本大学ボート連盟の強化合宿（瀬田合宿）に参加した全国各地の大学生の混成クルーの出漕等の話題性のあるクルーが参加。今年のHeadは男子は福田選手、女子は冨田選手であった。

当倶楽部からは西原選手が冨田選手との熾烈な争いの末、僅差で女子の部2位。山口選手、須多選手は混成クルーで出漕し男子フォアで2位、井上(貴)選手・松元選手が男子ダブルスカルで4位、マスターズ種目でも3種目で1位と倶楽部員の方も活躍。

開催にあたっては、倶楽部からの借艇を再開。4年振りに表彰式・懇親会を開催。荒川選手、冨田選

手、西原選手によるトークイベント等を実施。倶楽部員の皆さま、選手の方々との久々の交流が出来た。

風が強くカヌー中心に何件かの転覆はあったが、接触事故等の大きな事故等なく無事に開催出来た。

収入：1,310千円、支出：460千円、粗利830千円

参加スタッフ　1日目：53名　2日目：44名

第32回は11月9日（土）10日（日）が開催予定。倶楽部員が2日の内1日は出場出来るようにしたい。そのためには多くの会員の方の参加、協力が必要。今回は2日目が少なく安全運営に支障をきたす可能性有。

また、準備においても多くの倶楽部員の協力が必要であり、声がかかった場合は是非ともご協力願いたい。

② ボート競技会等開催支援活動

ボート競技会等の開催支援

滋賀県県民体育大会、高校秋季総体等のボート競技会に審判を派遣した。

(2) ボート競技の指導等・普及に関わる事業活動

①セミナー・講習会の開催

2023朝日レガッタコーチセミナー兼公認スポーツ指導者義務研修会

今年度については事業を実施せず。

③ 水上スポーツ教室の開催等

初心者ボート体験教室（2023年5～11月毎月第2、4日曜日）

例年通りの体験、びわこ市民レガッタの事前練習会で多くの方に体験いただいた。

利用者はのべ145名と昨年より約30名増、会員からの紹介も多数あり、倶楽部の様子も知っていただけた。

初心者の方にはエルゴメーターによる基本動作の練習と艇の基本的な扱いを説明した後に実際に乗艇を体験してもらい、ローイングの楽しさや湖上からの眺めを楽しんでいただいた。

しかし、ドラゴンボートについては利用がなく、情報発信などが不十分であったと思う。

2024年度は更に体験を通じて水上スポーツの魅力を伝え、幅広い年代の会員増につながることを期待したい。

（収入実績： 2019年約22万円、2020年約7万円、2021年約6万円、2022年約8万円、2023年7万円）

ドラゴンボート体験（セタシジミ祭）

地域貢献の一つとして取り組んでいる。漁協が主催する「セタシジミ祭」での「トラゴンボート体験コーナー」での協力について、コロナ禍により2023年までの「セタシジミ祭」は4年連続で中止となった。2024年は、令和6年4月27日(土)に開催する事で、セタシジミ祭実行委員会にて準備が進められ、祭を盛り上げるイベントとしてドラゴンボート体験コーナーへの期待も高まっている。

ジュニアボート教室（2024年3月終了）

滋賀レイクスターズとのコラボレーションで実施していた小学生対象のボート教室を一昨年4月よりレイクスターズ主催により実施。当倶楽部は用具、場所の提供のみとなる。土曜日午前中には小中学生向け、月曜日、木曜日夕刻より中学生向け教室開催。2024年3月末まで実施。

収入実績：2022年　510千円、2023年　598千円

(3) 水上スポーツ活動の支援

安全管理に関する活動

① 安全講習会の開催（5/28） 出席者計34名

実際に琵琶湖で起きた事故を元に、安全なクラブ活動を再度呼びかけ。

琵琶湖における航路の確認と瀬田川航行ルールの確認。
特に水管橋付近の航行について詳細を再確認。

② 沈回復練習会（5/8・7/3）については有志による実施。

③ 琵琶湖漕艇場からの注意喚起メールを会員に転送。
→瀬田川及び琵琶湖での工事や藻刈り作業、及び洗堰の全開放流時の連絡。

④ 水上事故のフォロー

⑤ ＡＥＤの作動点検と部品交換

安全講習会

県ボート協会主催の安全講習会にリモート団体参加。（12/10）
フルカワハウスにて26名参加

アクシデント・レポートの作成（随時）

【アクシデントリポート】
１．水上、陸上を問わず、漕手舵手が負傷した事故
２．水上において他艇あるいは他物との衝突及び接触
３．艇の沈没
４．損害の有無を問わず、外部の救助を仰いだ事故
【インシデントリポート】
１．上記４項目に準じる事故、及び、事故の一歩手前で
「ハッとした」事象が起きた時

⇒ いずれもクラブ内での共有化が今後の課題

安全規則

【琵琶湖と瀬田川の境界線での航行について】
滋賀県安全対策会議で作成された目安図を掲載しています。
【舵手なし艇の乗艇について】
「10.舵手なし艇乗時におけるステアリング担当者は、操舵技術だけでなく判断能力や空間認知能力がより必要であることから認定を受けた者だけが担当できることとする。認定については安全担当理事へ申請、認定を受けること。」
積極的に受けてほしい。

平日シニア組の冬期乗艇自主ルールについて

練習中に仲間を亡くすという悲しい過去の経験を二度と繰り返したく無いという思いから、平日シニア組は冬期における乗艇自主ルールを策定し、守って頂いています。

(4) ボートに関する情報発信

クラブの月刊機関紙「漕艇通信」（会報）の月末発行、ホームページを活用した情報発信等を行い、クラブの活動に関する最近の情報を提供した。引き続き、「漕艇通信」はホームページ上で公開している。

(5) 選手競技活動

第101回全日本ローイング選手権大会では倶楽部から山口将平/須多敏貴が軽量男子ペアに出場し準優勝の戦績を残した。瀬田漕艇倶楽部としては2013年の全日本選手権以来の表彰台となった。来年はこのペアを中心に全日本選手権での優勝を目指す。もちろん選手の加入、活動状況によっては他種目での選択肢もあり得る。競技志向の会員はぜひとも飛び込んできてほしい。

(6) その他の活動

①プロコーチ杉藤氏によるコーチング

年額50万円（年50セッション以上+しがスポーツ大使）を毎月按分する形で、杉藤コーチに支払い。Jrボート教室はレイクスターズ様主催により実施。月、木、土中心に３回/週開催、倶楽部としては用具・施設の提供として協力。

②全員集合日の実施

月例全員集合日を実施した。施設(艇庫、船台、水路)整備、芝刈り、艇整備を中心にオールの再塗装、市民レガッタやヘッドの事前・事後整理などを行いながらクラブ員相互の懇親がはかれた。

③施設関連実施事項

・2023年度実施工事関係

日常のメンテナンスを実施船台張替え、各所不具合対応、備品の購入

本館シャッター鍵交換、アネックス屋根外壁タッチアップ（4月～6月）

水道メータ更新（5月）丸のこ購入（6月）

脚立（10尺）の購入（10月）

・建屋、外構の整備計の画検討打合せを実施

④大会への役員派遣

関西ボート連盟、滋賀県ボート協会、京都ボート協会、大阪ボート協会、大津市ボート協会等主催の大会にて、役員活動を行なった。

⑤メディア出演等

2022年12月25日　月刊ローイングNo573「日本代表強化合宿参加選考会、第30回Head of the SETAと併催」
※Head of the SEATAが日本代表強化合宿選考会を兼ねることになったことについて田中代表が紹介

1月 2日 びわ湖放送　BBCニュース　「ボートの初漕ぎ会」　※初漕ぎ会の瀬田ロー仮装クルーが登場

1月 2日 NHK　NHK関西のニュース「ボート競技安全を願い 初漕ぎ会」
※初漕ぎ会の瀬田ロー仮装クルーが登場

1月 2日 関西テレビ放送　関西テレビ報道RUNNER　※初漕ぎ会の瀬田ロー仮装クルーが登場

1月 2日 朝日放送テレビ　ＡＢＣニュース　※初漕ぎ会の瀬田ロー仮装クルーが登場

1月 2日 毎日放送　MBS NEWS　※初漕ぎ会の瀬田ロー仮装クルーが登場

1月 4日 中日新聞12頁 滋賀面「中学から80代240人ボート初漕ぎ満喫」
※初漕ぎ会の瀬田ロー仮装クルーが登場

3月 滋賀県文化スポーツ部スポーツ課交流推進室　しがスポーツナビ　動画ギャラリー
「ボートとカヌーの違いについて」　※ボートとカヌーの違いについて紹介

8月28日 中日新聞8頁　滋賀面　「昨年復帰 押谷選手(長浜)圧勝」
※びわ湖レガッタに出漕した押谷さんを紹介

8月28日 中日新聞9頁　滋賀面　「瀬田漕艇倶楽部が準優勝 急造ながら好成績」
※びわ湖レガッタに出漕した混成男子エイトを紹介

2　収益事業活動

朝日レガッタでの運営主体も変わり請負をしたライブストリーミング、大会期間中の出店用地斡旋が出来ず。エルゴ、NK商品中心に売上昨年並み確保。

今期途中より休業届提出済。

2023年活動まとめ

実施時期	実施場所	事業名	倶楽部員 従事人数	受益対象者
2/4(土)	瀬田漕艇倶楽部	Virtual Indoor Rowing		14名参加
2/26(日)	瀬田漕艇倶楽部	定期総会	出席46名 委任32名	正会員133名
4月下旬 （中止）	瀬田川	第36回セタシジミ祭 （ドラゴンボート体験）		
10/8(日)	琵琶湖漕艇場	第18回びわこ市民レガッタ	60名	参加者59クルー (エントリー数)
11/11(土)-12(日)	瀬田川	第31回Head Of The Seta	延べ97名	2日延参加者173クルー (514名)
11/19(日)	琵琶湖漕艇場	日本郵船（株）社内レガッタ （運営サポート）	41名	約400名
5～11月 第2,4日曜日	瀬田漕艇倶楽部 琵琶湖漕艇場	初心者ボート体験教室	6名	一般市民約145名

倶楽部会員数

	会員数 2022年12月31日	１年間の入会数	１年間の退会数	会員数 2023年12月31日
正会員(家族会員)	133 (22)	5 (7)	9 (6)	129(23)
賛助会員	72	2	4	70
合計	205 (22)	7 (7)	12 (6)	199 (23)

2023年度競技活動結果

☆全国インドアローイング大会岐阜大会☆1月22日
　女子13歳～15歳　　元安(梓)（滋賀レイクスターズ）　8分58秒1
　女子40歳～49歳オープン　武良(美)　8分06秒9
　男子50歳～59歳軽量級　　元安(崇)　8分03秒9
　男子70歳以上　　安達　　7分40秒0
　女子70歳以上　　長瀬　　9分37秒6、中西　10分36秒8
☆2023年2月 2000mエルゴタイムトライアル(シニア・WUG・U23カテゴリー日本代表選手選考)☆
　男子　岡田(滋賀レイクスターズ)　6分40秒1 48位
　女子　西原(プリントパック)　　7分14秒6 12位　体重別%IDTで順位を確定
☆2023バーチャルインドアローイング大会☆2月4日
　2000m一般男子　　岡田(滋賀レイクスターズ) 6分27秒4 1位
　2000m一般女子　　西原(プリントパック)　　7分22秒3 2位
　2000m男子40歳以上　狩谷　　7分56秒3 11位、元安(崇)　8分00秒3 13位
　2000m男子60歳以上　中村(眞)　8分49秒2 3位
　 500m女子40歳以上　武良(美)　1分44秒3 1位
　リレー500m×4　一般女子　　元安(梓) 島田(ひ) 嶋 武良(美)　7分49秒5 9位
　リレー500m×4　一般男女混合　西原 井原 山領 山口(将)　　6分25秒6 2位
☆大津市民駅伝☆2月5日
　一般クラブの部　瀬田漕艇クラブＡ　　4位（1時間31分48秒）
　池端　（1区4.2km　4位 15分57秒）　・ 伊庭　（2区1.6km　3位　6分16秒）
　山口将（3区6.0km　5位 22分49秒）　・ 鈴木　（4区4.4km　2位 16分00秒）
　吉村　（5区1.6km　9位　6分38秒）　・ 津村　（6区6.0km　4位 21分36秒）
　一般クラブの部　瀬田漕艇クラブＢ　　9位（1時間47分17秒）
　黒田　（1区4.2km 11位 20分35秒）　・ 宇野　（2区1.6km　9位　7分12秒）
　今城　（3区6.0km 14位 27分36秒）　・ 木村俊（4区4.4km　5位 18分14秒）
　坂本春（5区1.6km 10位　7分31秒）　・ 坂本剛（6区6.0km　9位 26分09秒）
☆日本代表チーム選考レース（SBS）予選タイムトライアル☆3月6日
　男子１×　岡田(滋賀レイクスターズ) 19位　日本代表チーム選考レースに進出
　女子１×　西原(プリントパック)　　4位　日本代表チーム選考レースに進出
☆びわ湖マラソン☆3月12日
　男子総合　林(紘)　3時間11分39秒 691位、盛田(悠) 28km途中棄権
☆日本代表チーム選考レース（SBS）☆3月16日～18日
　男子１×　岡田(滋賀レイクスターズ) C決勝4位（全体16位）
　女子１×　西原(プリントパック)　　B決勝1位（全体7位）
☆全国中学校選抜ボート大会☆3月18日～20日
　女子１×　元安(梓)(滋賀レイクスターズRC) 予選D組４位
☆中日本レガッタ☆4月21日～23日
　中学生女子２×　元安(梓)(滋賀レイクスターズ) 優勝
☆西日本選手権☆4月29日～30日
　男子１×　岡田(滋賀レイクスターズ) 5位、田中(彰) D決勝2位(全体20位)
　女子１×　西原(プリントパック) 優勝
　男子２－　山口(将) 須多 3位
☆岐阜レガッタ☆4月29日～30日
　中学男子１×　安達　予選D組1位
　中学女子１×　元安(梓)（滋賀レイクスターズ）予選A組2位
☆朝日レガッタ☆5月3日～6日
　男子１×　岡田(滋賀レイクスターズ) 優勝

男子２×　山口(将) 須多 準決勝5組2位
男子８＋　中村(眞) 狩谷 今城 上原 伊庭 安達 吉村 津村 元安(崇) 4位
男子ナックルフォア　三登 木所 永田 佐々木(高) 尾崎(準) 予選1組4位
中学女子４×＋　元安(梓)(ＢＲＣ・レイクスターズ) 優勝
☆大津市民レガッタ☆5月14日
男子160歳未満　中西(雅) 下村 永田 安達 元安(崇) 1位
男子160歳以上　太田(弘) 太田(俊) 木所 佐々木(高) 尾崎(準) 1位
女子160歳未満　中(俊) 中(さ) 三登 竹内 長瀬 1位
女子160歳以上　太田(弘) 武良(美) 東(暢) 安藤 尾崎(幸) 1位
女子240歳以上　中西(雅) 木村(祐) 中出 小島 上坂 1位
☆滋賀県中学校春季総体☆5月18日
女子１×　元安(梓)(滋賀レイクスターズ)　2位
☆全日本選手権☆5月18日～21日
男子１×　岡田(滋賀レイクスターズ) 6位
女子１×　西原(プリントパック) 3位
軽量級男子２－　山口(将) 須多 準優勝、椎名(ぐんまちゃん) 4位、家村(京都大学医学部) 5位
☆ねんりんピック☆5月27日
男子１×　安達 1位、尾崎(準) 2位
女子１×　長瀬 1位
☆茨戸レガッタ☆6月3日～4日
フレンドリー種目
男子１×40歳以上　今城 3位、尾崎(準) 4位
混成２×　尾崎(準) 尾崎(幸) 3位
☆Beach Rowing Sprint Games 2023 Imabari☆6月10日～11日
ＣＭ１×　南條 山口(将) 準決勝Ａ2位
☆滋賀県民スポーツ大会 国体予選会 兼 関西選手権中学の部☆6月17日
成年男子国体選考１×　岡田(滋賀レイクスターズ) 3位、倉本 B決勝6位(全体12位)
成年男子１×　須多 3位
関西選手権中学女子1×　元安(梓)(滋賀レイクスターズ)　2位
男子１×40歳以上　黒田 1位
女子１×40歳以上　武良(美) 1位、三登 2位
男子１×60歳以上　安達 1位
女子１×60歳以上　長瀬 1位
男子２×60歳以上　佐々木(高) 尾崎(準) 1位
女子１×60歳以上　尾崎(幸) 盛田(道) 1位、木村(祐) 中西 2位
☆京都ボート選手権 兼 国体京都府選考会☆6月18日
成年男子１×　山口(将) 3位
成年女子１×　西原(プリントパック) 1位
成年女子２×　嶋 1位
☆全日本社会人選手権☆6月24日～25日
女子１×　西原 (プリントパック)　2位
女子４×　西原 (プリントパック)※他団体と混成 2位
男子１×60歳以上　安達　Ｂ決勝1位(全体7位)
☆滋賀県中学校夏季総体☆7月1日
女子１×　元安(梓)(滋賀レイクスターズ) 2位
☆関西選手権☆7月1日～2日
男子１×　鈴木 準決勝2組4位、湯　準決勝2組5位
女子１×　西原(プリントパック) 優勝
男子２－　山口(将) 須多 2位

浜寺杯男子４＋　今村 井上 松元 伊庭 吉村 優勝
男子１×マスターズ　田中(彰)2位、黒田4位
☆国体関東ブロック☆7月8日～9日
男子４＋　椎名(群馬選抜) 3位　※鹿児島国体進出
☆米子市民レガッタ☆7月9日
ミックスの部　中村(眞) 木所 東(暢) 武良(美) 武良(誠) 2位
☆国体近畿ブロック☆7月16日
女子１×　西原(京都選抜) 1位　※鹿児島国体進出
女子２×　嶋(京都選抜)　3位
☆国体四国ブロック☆7月16日
男子４＋　井原(香川選抜) 3位
☆国体中国ブロック☆7月16日
女子４×＋　三島(島根選抜) 5位
☆全日本中学選手権競漕大会☆7月22日～23日
女子１×　元安(梓)(滋賀レイクスターズ) 準決勝B組5位
☆Trebon International Regatta(トレボン インターナショナルレガッタ)☆8月19日～20日
女子１×　西原(日本シニアナショナルチームC代表) 優勝
☆滋賀県ジュニア選手権☆8月19日～21日
高校女子２×　西川(彦根東高B)　8位
高１タイムトライアル女子１×　島田(ひ)　(大津高)　2位
高１タイムトライアル女子２×　黄瀬(一)、元安(梓)　U-15強化A　4位
☆Litomerice International Regatta(リトムニェジツェ インターナショナルレガッタ)☆8月26日～27日
女子１×　西原(日本シニアナショナルチームC代表) 優勝
☆びわ湖レガッタ☆8月26日～27日
男子２×　三島 南條　3位
男子８＋　坂本(春) 山口(将) 倉本 鈴木 南條 須多 2位
男子１×40歳以上　押谷　優勝
男子１×60歳以上　安達　優勝
男子８＋50歳以上　中村(眞) 黒田 木所 狩谷 古川※ 太田(俊) 尾崎(準) 佐々木(高) 田中(彰)　2位
女子ナックル60歳以上　太田(弘) 木村(祐) 小島 中出 上坂　優勝
☆鹿児島特別国体☆9月21日～24日
成年女子１×　西原(京都選抜)　優勝
成年男子２×　岡田(滋賀選抜)　準決勝Ｄ組3位、山口将(京都選抜)　敗者復活Ｅ組2位
成年男子４＋　椎名(群馬選抜)　準決勝Ａ組4位
成年女子４×＋　岩留(鹿児島選抜)　敗者復活Ａ組3位
☆全国市町村交流レガッタ☆9月30日～10月1日
男子160歳未満　尾崎(準) 下村 永田 安達 元安(崇) 総合15位
女子160歳未満　盛田(道) 三登 坂本(春) 竹内(英) 長瀬 総合7位
女子160歳以上　太田(弘) 武良(美) 東(暢) 安藤 尾崎(幸) 2位
☆京都レガッタ☆10月1日
男子１×　家村 準決勝C組3位
マスターズ男子１×　狩谷 優勝、押谷 2位、鈴木(雅) 3位、今城 4位
男子２×　鈴木(雅) (京都RC)準決勝A組6位
混成２×　三島 南條 2位、エイモス ※他団体と混成 4位、黒田 嶋 5位
男子４＋　井上(貴) 松元 伊庭 吉村 杉藤(洋) 4位
男子８＋　山口(将) 南條 西原 須多 家村 井原 鈴木(順)※龍谷大と混成 優勝
☆全日本新人選手権☆10月13日～15日
男子２×　井上(貴) 松元 敗者復活Ｄ組3位、伊庭 吉村 敗者復活Ｅ組4位
☆Head of the JINZU☆11月4日

オープン男子（１×） 安達 2位
☆Head Of The Seta☆11月11日～12日
男子１×一般　家村 5位
女子１×一般　西原(プリントパック) 2位
男子１×60歳代　植田 4位
女子１×60歳代　中出 1位
男子１×70歳代　安達 1位
女子１×70歳代　長瀬 1位
男子４＋　山口(将) 須多 (魚崎RC) 2位
男子２×　井上(貴) 松元　4位、植田　(紅臙会) 12位
武良(誠)(キラーホエール) 14位、尾崎(準) 尾崎(幸) 15位
女子２×　中西 太田(弘) 3位
☆ツール・ド・おきなわ☆11月12日
市民レース100km　南條 27位
☆Head of the ARA☆11月25日
強化選考女子２－　西原(日本ローイング協会)　3位
男子１×一般　岡田(RA仙台) 5位、椎名(Swift Racing Japan)　21位
☆かいつぶりレガッタ☆11月25日
女子シニアマスターズ　太田(弘) 木村(祐) 小島 中西 上坂　1位
ビギナーミックス　太田(弘) 東(暢) 林(生) 津村※他団体と混成 2位

令和5年度「特定非営利活動に係わる事業会計」活動計算書

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

特定非営利活動法人　瀬田漕艇倶楽部

（単位　：　円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ 経常収益の部			
1 受取会費			
会費	5,007,500		
入会金	150,000	5,157,500	
2 受取寄付金			
賛助金(個人)	430,000		
賛助金(法人)	500,000		
一般寄付金	20,000	950,000	
3 受取助成金			
受取補助金	0	0	
4 事業収益			
自主事業収益	2,373,380		
受託事業収益	1,250,000	3,623,380	
5 その他収益			
受取利息	444		
雑収益	522,440	522,884	
経常収益　計			10,253,764
Ⅱ 経常費用の部			
1 事業費			
給料手当	202,350		
通勤費	7,200		
水道光熱費	565,814		
保険料	197,896		
減価償却費	2,659,476		
消耗品費	566,541		
保全費	550,749		
施設費	184,800		
福利厚生費	134,805		
広告費	29,385		
賃料	225,220		
交通費	62,067		
通信費	10,864		
賞品代	213,250		
租税公課	758,200		
強化費	269,226		
選手登録費	100,000		
支払手数料	598,664	7,336,507	
2 管理費			
給料手当	472,150		
通勤費	16,800		
水道光熱費	28,201		
保険料	39,153		
減価償却費	231,888		
消耗品費	87,891		
会誌発行費	194,736		
会議費	11,733		
交際費	7,500		
通信運搬費	10,504		
諸会費	4,200	1,104,756	
経常費用　計			8,441,263
当期経常増減額			1,812,501
Ⅲ 経常外収益の部			
経常外収益　計			0
Ⅳ 経常外費用の部			
固定資産除却損	0		
経常外費用　計			0
税引前当期正味財産増減額			1,812,501
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増加額			1,812,501
前期繰越正味財産額			96,772,473
次期繰越正味財産額			98,584,974

令和5年度「収益事業会計」活動計算書

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

特定非営利活動法人　瀬田漕艇倶楽部

（単位　：　円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　経常収益の部			
1　事業収益			
販売、サービス事業収入	922,749	922,749	
2　その他の収益			
預金利息　他	8	8	
経常収益　計			922,757
Ⅱ　経常費用の部			
1　事業費			
事業収益原価	789,070	789,070	
2　管理費			
雑給	0		
事務通信費	118,193		
その他の経費	2,310	120,503	
経常費用　計			909,573
当期経常増減額			13,184
Ⅲ 経常外費用の部			
棚卸資産除外損	2,210		2,210
税引前当期正味財産増減額			10,974
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増加額			10,974
前期繰越正味財産額			5,246,819
次期繰越正味財産額			5,257,793

令和5年度「特定非営利活動に係わる事業会計」貸借対照表

令和5年12月31日現在

特定非営利活動法人　瀬田漕艇倶楽部

（単位　：　円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金	270,456		
普通預金	32,817,371		
流動資産　合計		33,087,827	
2 固定資産			
建物	24,542,662		
構築物	1,657,813		
艇	23		
備品	63,181		
土地	24,000,000		
一括償却資産	66,668		
固定資産　合計		50,330,347	
3 投資その他の資産			
艇庫積立金	15,033,650		
長期前払費用	200,840		
投資その他の資産　合計		15,234,490	
資産合計			98,652,664
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	41,666		
預り金	26,024		
仮受金	0		
流動負債　合計		67,690	
2 固定負債			
固定負債　合計		0	
負債合計			67,690
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		96,772,473	
当期正味財産増加額		1,812,501	
正味財産　合計			98,584,974
負債及び正味財産　合計			98,652,664

令和5年度「収益事業会計」貸借対照表

令和5年12月31日現在

特定非営利活動法人　瀬田漕艇倶楽部

（単位　：　円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金	198,667		
普通預金	4,968,826		
在庫商品	90,300		
流動資産　合計		5,257,793	
資産　合計			5,257,793
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払法人税等	0		
流動負債　合計		0	
負債　合計			0
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産額		5,246,819	
当期正味財産増加額		10,974	
正味財産　合計			5,257,793
負債及び正味財産　合計			5,257,793

令和5年度　財産目録

令和5年12月31日現在

特定非営利活動法人　瀬田漕艇倶楽部
（単位　：　円）

科　目・摘　要			金　額		
Ⅰ 資産の部					
1　流動資産					
現金・預金					
現金		（一般）	270,456		
現金		（収益）	198,667		
普通預金　滋賀銀行　石山支店		（一般）	11,877,883		
普通預金　滋賀銀行　瀬田支店		（特別）	2,996,157		
普通預金　滋賀銀行　瀬田支店		（一般）	0		
普通預金　滋賀銀行　石山支店		（収益）	319,667		
郵便貯金	普通通帳	（一般）	3,921,066		
郵便貯金	大会受付	（一般）	4,706,567		
郵便貯金	会費	（一般）	8,078,198		
郵便貯金	事業別会計	（一般）	1,237,500		
郵便貯金		（収益）	4,649,159		
在庫商品（販売商品在庫高）			90,300		
流動資産　合計				38,345,620	
2　固定資産					
固定資産					
艇庫積立金			15,033,650		
建物			24,542,662		
構築物			1,657,813		
艇			23		
備品			63,181		
土地			24,000,000		
一括償却資産			66,668		
長期前払費用（火災保険料他）			200,840		
固定資産　合計				65,564,837	
資産合計					103,910,457
Ⅱ 負債の部					
未払金			41,666		
未払法人税等			0		
預り金			26,024		
借受金			0		
流動負債　合計				67,690	
負債合計					67,690
正味財産					103,842,767